

豊間根地区

総合整備計画を可決



約半世紀豊間根地区の寄合所として使われています

3月 定例会の あらまし

令和5年3月定例会は2月10日から3月10日まで29日間にわたって開かれました。初日には、5年度の町長施政方針演説などが行われました。
また、町長提案の議案33件を審議し、全て原案のとおり可決しました。(2〜3ページ)

5年度の一般会計、特別会計などの予算8件は、予算特別委員会を設置し、3月8日、9日、10日の3日間にわたって集中審議し、全て原案のとおり可決しました。(4〜7ページ)
一般質問では10人の議員が登壇し、活発な議論が行われました。(9〜18ページ)

定例会の議案審議や一般質問での質疑全文を記録した会議録は、6月下旬ごろから、議会ホームページ、町立図書館で閲覧可能となる予定です。

豊間根地区の集会施設と消防団屯所の「移転整備」や、農業経営の安定化などを図るため、豊間根辺地に係る総合整備計画を定めることについてが提案され、全員賛成で可決しました。

令和5〜7年度にかけ、豊間根生活改善センターに替わる新たな集会施設の整備を含めた5事業が行われます。

■総合整備計画の内容

①豊間根生活改善センターの「移転整備」

豊間根地区の主要集会施設の豊間根生活改善センターは、昭和49年に建設・供用された施設です。建物が老朽化していることから、

「移転整備」が計画されています。

②町消防団第12分団屯所の「移転整備」

同地区の消防活動の拠点となる第12分団屯所建物が老朽化していることから、「移転整備」が計画されています。

③耐震性貯水槽を整備

②の整備と合わせ、消防水利の不足地域を解消し、迅速な消火活動ができるように貯水槽の整備が計画されています。

④田名部地区圃場整備

同地区の農地は土水路排水や狭い農道などにより効率的な営農が難しいことから、県事業による圃場整備のための事業計画や営農ビ

ジョンの作成が行われます。

※圃場とは、水田や畑、牧草地などの農地のことで、田圃(たんぼ)の「圃」でもあります。

⑤町道新田・繋線の道路改修

この道路は道幅が狭く、側溝にふたがないことや、舗装が劣化していることから、側溝と舗装の改修が計画されています。

豊間根地区にはこの計画のほかに、山田北インターのフル化、羽々の下工業団地の整備なども動き出しており、企業誘致などによる働く場の確保にも注目が集まります。
豊間根の将来を見据えた計画が今、動き出します。